

ほんものを求める“協働の場” 明舞センターにオープン

## 食を通じた「ふれあい」の拠点

明石市と神戸市垂水区にまたがる明舞団地（明石舞子団地）の明舞センターの空き店舗を利用して「よりあいクラブ明舞ひまわり」が10月30日オープンしました。

兵庫県が募集した同団地の再生とコミュニティの活性化モデル事業に応じて、NPO法人ひょうご農業クラブと地元明石で発足したNPOひまわり会が連携して開いたもので、「食をとoshした福祉コミュニティづくり」をめざした市民事業。

農業クラブが相生、赤穂市で育てている有機・無農薬野菜や兵庫県内の提携農家などから出荷された野菜やお米を販売する一方、こうした野菜や「ふれあい食堂」、出会いといやしの場を提供する「ふれあい喫茶」を営業しています。

オープン初日は開店前から団地の高齢者などが訪れ、野菜を買い、昼の定食（550円）を味わっていました。



定食は、リーダーの食文化研究家で明石や神戸で高齢者の配食サービスを指導している入江一恵さんが練りに練った一汁三菜の献立。初日は一品おまけが付いていたが、すべてボランティアスタッフによる完全手づくりメニュー。明るい色調の店内では、心のこもった料理と食器類、調度品に皆さん満足げでした。



！！営業日は徐々に拡大！！

**野菜は週5日、食堂は11月週2日、12月週3日**

野菜の販売は週5日（月、火、木、金、日）、食堂と喫茶は当面、11月は月、木の週2日、12月は月、火、木の週3日、1月から野菜と同じ週5日の営業になります。

**今後「配食」や「ミニデイ」サービスも計画**

準備が整いしだい、食事に訪れることの困難な高齢者に自宅までお弁当を届ける配食サービスをはじめのほか、ミニデイサービスも計画しています。

**ボランティアや応援する「友の会」会員も募集**

調理ボランティアには神戸や明石など広範囲から20数名が参加していますが、営業日の拡大にはたくさんのボランティアが必要です。配食サービスには配送ボランティアも必要になります。たくさんの応援を求めています。